

倉敷市伝統美観保存条例 制定50周年記念シンポジウム

みんなでももり育てる

町家・町並み

平成31年
1月26日(土) 13:00~16:30
(開場12:30~)

倉敷公民館大ホール 参加費:無料
〒710-0054 岡山県倉敷市本町2-21 申し込み不要

倉敷市所蔵 内田鍊太郎氏 寄贈フィルム



倉敷公民館付近(1959年頃)



今橋付近(1959年頃)



倉敷民藝館付近(1952年頃)

倉敷市が町並み保存を目的とした自主条例である「倉敷市伝統美観保存条例」を制定して、今年で50周年を迎えます。

この記念すべき節目の年に、本市の半世紀にわたる町並み保存の歩みを振り返るとともに、これからの50年に向けた取り組みや課題について考えていきます。



※駐車場台数に限りがありますので、公共交通機関をご利用ください。

お問い合わせ 倉敷市教育委員会文化財保護課 TEL:086-426-3851

1 基調講演

演題「町並みの、何を・なぜ・どのように保存するのか」

講師 福川 裕一 氏

千葉大学名誉教授。全国町並み保存連盟理事長。クリエイティブタウン推進機構理事長。専門は都市計画・都市デザイン、特に歴史的環境の保全や住民主体のまちづくりを支援している。

2 パネルディスカッション

[テーマ]「みんなでももり育てる町家・町並み」

[パネリスト]

- ◆ 澁谷 俊彦 氏(山陽学園大学教授・倉敷市伝統的建造物群等保存審議会会長)
「倉敷における町並み保存の歩みと今後の展望」
- ◆ 牛丸 岳彦 氏(高山市教育委員会文化財課係長)
「飛騨高山の町並みを守るために」
- ◆ 中村 泰典 氏(倉敷伝建地区をまもり育てる会事務局長・NPO法人倉敷町家トラスト代表理事)
「町家・町並み保存と地域住民」

[コーディネーター] 福川 裕一 氏